

水と環境



水道産業新聞社
 大阪本社 電話(06)6373-3603
 F A X(06)6373-3633
 〒531-0072 大阪市北区豊崎2-7-9
 東京本社 電話(03)5251-0303
 F A X(03)5251-3802
 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-19-10

オーギュスト・ロラン氏に聞く

ウェオリア・エンハイロメント上級副社長

オーギュスト・ロラン氏は、韓国の水事業開拓で大きな成功を収め、その後日本のウェオリアウォータージャパンを2002年に設立した。日本においては埼玉県、千葉県、広島県の下水処理場の包括委託管理事業などを推進し、2008年から米国ウェオリアウォーターのCEO兼社長を務め、NY州の水道の革新的な維持管理事業を推進した。昨年からはウェオリア・エンハイロメント(パリ本社)の革新的な技術および市場開拓の上級副社長を務めている。グローバルな水事業では、最も注目されるキーパーソンの一人である。筆者とは2002年から付き合いがあり、久しぶりの再会で、ズバリ、ウェオリアウォーターの世界戦略および、日本企業にかけられる期待についてS-IWW会場にて単独インタビューした。

(グローバルウォーター・ジャパン代表 吉村和就氏)



世界戦略や日本企業への期待を語ったロラン氏(右)と筆者(6月1日、S-IWW会場にて)

(パブリック・ウォーター)向け海水淡水化(日量20万ト)事業を締結している。三菱商事や三菱重工、丸紅等々からもプロジェクト毎の要請がある。水の専門企業であるSingapore Water & Powerなど技術力を持つ企業からの提案も歓迎したい。特に足の速い産業用の水処理分野、①オイル&ガス分野②食品工業の水循環③鉱山の用排水処理に注力しているの

してゆく。

日本のグローバル展開を支援

■日本企業との協業

ウェオリア・エンハイロメントの2013年の売り上げは22・3億ユーロであり、オペレーションインカムでは16・9%の伸びを示した。

会社経営の4本柱は①水事業②環境サービス③廃棄物収集・処理④エネルギーサービス、

④輸送事業である。水事業においては約9000万人に飲料水を供給、また下水・排水処理では800万人にサービスを行っている。伝統的な公営の上下水道事業には、共の上下水道事業には、所・エジプトのアラフコ社JVとイラク・バスラ

日本を代表する企業から多くのオファーがあり、今年1月は日立製作所・エジプトのアラフコ社JVとイラク・バスラ

日本企業との協業は、日本在任時代にお世話になった人々への恩返しと考えている。

.....